



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集* 渡部

TEL 046-223-0110

性犯罪被害の防止

～携帯電話やヘッドフォンのながら歩行に注意～

性犯罪は、被害者を心身ともに深く傷つけ、たとえ身体の傷が癒えても被害者だけでなく、周りの家族等をも長きにわたって苦しめ続ける許しがたい犯罪です。混雑した電車内、帰宅途中、就寝中等さまざなな場面で、被害に遭う可能性を潜んでいます。これから暖かくなると、衣服も薄着になり、人の気持も開放的になります。そして、毎年この季節になると、性犯罪の被害が増える傾向にあります。特に女性の皆さんは、自分の身を守ることを意識し、次のことを

◎ 帰宅するとき

◎ 深夜帰宅は、家族に迎えに来てもらう。タクシーを利用するなどして、一人歩きは避けましょう。

◎ 携帯電話やヘッドフォンを使用しながらの歩行は、周囲への警戒心が薄れて被害に遭う危険性がありますので控えましょう。

◎ 道回りでも幹線道路等、明るくない道路を通り、時折周囲の様子に気をくばりましょう。

◎ 防犯ブザーや笛(ホイッスル)など、音の出るものを携帯しましょう。スマートフォンには、防犯ブザーアプリなどもあります。

◎ 自宅に入るとき

◎ 周囲に入っていないことを確認してから玄関を開けましょう。

※「ただいま」など大きな声を出しながら鍵を開けるのも一つの方法です。

◎ 後は素早く家の中に入り、必ず鍵を掛けましょう。

※ドアには複数の鍵を取り付けると、より安全です。

◎ 自宅に居るとき

◎ 上層階でも窓から侵入された事例がありますので、就寝前にもう一度、玄関だけでなく、窓の戸締りも確認しましょう。

◎ 夜はエアコンなど利用し、ベランダや小窓、高窓も必ず鍵を掛けましょう。

◎ 来訪者には、ドアチェーンを掛けたまま対応し、相手を確認した後にドアを開けましょう。

性犯罪でお困りの女性は、最寄りの警察署または性犯罪110番までご相談ください。
性犯罪110番 電話045(681)0110

不法滞在・不法就労防止のための理解と協力を

◎ 日本に不法入国したり、滞在期間を超えて日本に滞在したりする外国人のほとんどは、不法に就労し、一部には犯罪に手を染める者もあり、日本の治安に大きな影響を及ぼしています。これらの不法滞在や不法就労防止のためには、県民の皆様との理解と協力が必要です。

こんなことに注意してください。

- 不法滞在、不法就労、薬物・銃器の密輸、外国人による売春・窃盗等犯罪を見たり聞いたりしたときは、最寄りの警察署や交番・駐在所に届け出るか、110番で通報してください。
- 外国人を雇用するときは、パスポートや在留カードのコピーではなく、必ず現物を見て、在留資格、在留期間を確認してください。

就労することが可能であるかどうか、従事する仕事の内容が適しているかどうかを判断して、不法就労者や働くことが出来ない在留資格(短期滞在・文化活動等)の外国人を雇用しないようにしてください。

また、提出されるパスポートや在留カードの中には、偽造されたものや他人名義のものを使用している場合がありますから注意してください。

- 不法滞在者や働くことが出来ない在留資格の外国人を雇用したり、密航等を手助けた場合は処罰されます。
- 不明点については、各警察署にお問い合わせください。

また、大多数の正規に滞在する外国人は、生活習慣の違いから犯罪や事故の被害等に遭うことも考えられますので温かく見守ってください。

事件記録板

4月中の事件は、

◎ 住居侵入? 事案の発生

4月中旬の午後7時ころ、荒屋敷地区で年齢40歳から50歳位の黒っぽい作業服を着た男が無施錠の玄関から入って来て、声を掛けると無言で立ち去ったという事案がありました。

目的は窃盗なのか性的目的のかわかりませんが、幸い被害はありませんでした。連絡が発生から約1週間経過していました。今後同様な事件が発生した場合は、すぐに110番通報願います。また、昼間、夜間を問わず在宅していても玄関等施錠をお願い致します。以前、深夜であつても起きて頂くこともありますし、被害が遭つてからでは遅すぎます!!必ず施錠をお願い致します。

駐在所の独り言

世界が目にする日本「トヨタ」の偉業の源は?!

私は、18歳の学生の身分から贅沢?か、メーカーに拘りもなく車が好きで多くの車に乗って来ました。その中で、一番長かったのがスバルで約20年で10台?位乗りました。現在はトヨタのプリウスで4年になります。日本の車はどのメーカーにもユーザーの目線に立ったメーカー毎に個々に拘った素晴らしいものを持っていますが、その中で世界が目している日本の「トヨタ」があります。世界大学ランキング1位と言われる世界中の優秀な技術者が集まる、米国のハーバード大学で「日本論」と言う講義があります。この講義は、トヨタ自動車づくりの講義から始まるようです。ハーバードで20年以上、オペレーションマネジメント(企業戦略の実践)を教えているアナス・ラム教授は、「私は、トヨタ自動車の大ファンだ」と公言しています。米国は、個人がいかに偉業を達成するかを目標に努力をしているお国柄なようで、その代表とも言えるコンピュータソフトで有名なマイクロソフト(創始者ビルゲイツ)があります。この優れた米国、世界が絶賛するトヨタってどれだけ凄いのか、なぜトヨタがオペレーションの教科書なのか、もしかしたら日本でもトヨタの教科書が日本にも生かせるのではとトヨタについて調べてみました。ラム氏は、ハーバードの教員になってからトヨタ自動車の研究し続け、「なぜ他の企業が試行錯誤しながら朝の体操から始めるなど、どれだけ真似してもトヨタになれないのか」考え続け、やっとなりました。それは、安全な車をつくるにはどうしたらいいのか、社員全員で考える。リーダーは問題を共有しやすい企業文化をつくる。それがトヨタです。米国は、一人でも偉業を目指すお国柄からすれば社員全員で力を合わせて成し遂げる偉業がいかに素晴らしいことに見えたことでしょうか。例えばトヨタのマネージャーは部下がミスや問題を報告しても叱責せず、「問題を共有してくれてありがとう。不良部品を使って出荷していたら大変だったから本当にありがとう」と非難でなく感謝の言葉を添えるようです。それには上司も部下もありません。何でも相談しやすい話しやすい職場環境にするのです。更に社員全員のマインドを変えるにはどうしたらいいのかと考えるようになり、皆で支え合い、心の悩みがあれば小さなことでも見逃さず真心で接します。だからと言って仲良しクラブではありません。素晴らしいアイデアが浮かんだら、皆さんで実行しようというのはリーダーの仕事ではありません。リーダーシップとは、もっとも深いもので、日々の積み重ねであり、精神を磨き普段の生活の中でも周りの人に対する気配りと真心を持ち人から愛される事から始まります。またそうした精神が自分にも帰って来て、更に社員全員が自分を磨く事が出来る環境をつくる事なのです。このトヨタが日本の企業である事を誇りにこれからは「真のトヨタの社員」になれるよう心のあるプロと言える人になれると思います。表題にあるトヨタの偉業の源の答えは真心です。